



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産

鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴

～日本近代化の躍動を体感できるまち～



佐世保市

SASEBO

ひと・まち育む“キラっ都”佐世保 自然とともに市民が元気で輝くまち

日本本土最西端、九州の北西端に位置する佐世保市。市内には烏帽子岳や将冠岳などの山系が連なり、臨海部はリアス海岸が形成され、大小の島々が複雑に織り成す九十九島（くじゅうくしま）を擁する「西海国立公園」が広がっています。

佐世保市の中心ともいえる佐世保港は、港口が狭く奥行きが広い天然の良港であることから明治22年に海軍鎮守府が開庁。これを機に人口が急増し、村から市へと発展しました。

先の大戦で市中心部は壊滅的な被害を受けましたが、昭和23年には佐世保港が西日本で戦後初となる貿易港としての指定を受け、また昭和25年に施行された旧軍港市転換法によって平和産業港湾都市への歩みを始め、造船業等を中心に発展してきました。

現在では、西海国立公園「九十九島」や「ハウステンボス」など、九州を代表する観光資源を有する観光都市としても知られています。



旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館



西海国立公園「九十九島」



ハウステンボス

©ハウステンボス/J-17347

佐世保



日本遺産 (Japan Heritage) とは 文化庁が平成27年度に創設した事業で、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、国内外に広く発信していくものです。